

泉川校区の人口

(H30年3月末現在)

世帯数: 5,803 戸

男性: 5,622 人

女性: 6,051 人

合計: 11,673 人

泉川だより

〒792-0821 新居浜市瀬戸町12-34 ☎ 41-6463



第35回 星原市 2018

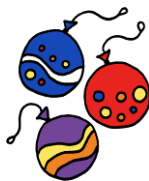
日時: 平成30年8月19日(日) 9:00~13:30

場所: 星の宮神社 子ども広場 ※雨天時は泉川公民館にて実施



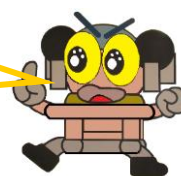
《タイムスケジュール》

- 9:00~ 神事
- 9:30~ 開会あいさつ
- 9:40~ 商業生吹奏楽演奏
- 10:00~ すもう大会
- 11:00~ O×ゲーム大会
- 11:20~ SOS 搜索体験
- 11:40~ スイカ割り
- 12:10~ ショータイム
- 13:00~ もちなげ
- 13:30~ 終了



※すもう大会参加者は9:30までに土俵前集合

みんなさそって
あそびに来てね!



《バザー》

フランクフルト、ジュース、焼き鳥、ヨーヨー射的、かき氷(無料)、わたがし(無料)
A1-2、麦棒、遊休品バザー など
(バザー商品は変更になることがあります。)
※遊休品バザーをご利用の方は持ち帰り用の袋をご持参ください。

遊休品大募集!! 泉川支部社協からのお願い

8月19日に開催される星原市で、社会貢献活動事業の一環として、遊休品バザーを行います。ご家庭に眠っているまだ使えるものがありましたら8月16日(木)までに公民館にお持ちください。ご協力をお願いいたします。



8月行事予定



日	曜	予定	時間
6	月	公民館運営審議委員会	19:00~
11	土	松木坂井夏まつり	
11	土	祝日(山の日) 休館日	
12	日	大好き泉川	8:00~
13	月	連合自治会専門部会	19:00~
14	火	瀬戸・寿夏まつり	
14	火	お盆休館日	
15	水	光明寺夏まつり	
15	水	お盆休館日	
17	金	健康づくりウォーキング	10:00~
19	日	星原市 2018	9:00~
22	水	公民館職員研修会	13:00~
26	日	連合自治会役員会	19:00~

「工都新居浜市

80年の歩みから見えてくるもの」展

内容 市制施行80年の歩みから見えてくる郷土新居浜市の魅力や積み上げてきた財産、多くの先人が発信してきた貴重な心根などを写真や図表、パネルを組み合わせで紹介する企画展

日時 8月21日(火)~30日(木) 9:30~16:30
休館日8月27日(月) 最終日は15:30終了

場所 別子銅山記念図書館 多目的ホール

入場料 無料

主催 「工都新居浜市80年の歩みから見えてくるもの」展実行委員会

問合せ 実行委員会事務局 (0897) 37-2113 (一忠不動産内)

ふるさと塾

『花木と野菜の上手な作り方』(園芸教室) 開催

7月21日(土)高知市から武井道夫先生を迎えて、園芸教室を実施しました。参加者からは花・樹木・野菜等の植物全般にわたる質問があり、熱心な学習会でした。酸・アルカリの土壌のこと、有機肥料・化学肥料のこと、植物の育ち安い場所(日当たり状況)等専門的な知識も交え、終始和やかな雰囲気で行われました。



大好き泉川っ子体験教室

(8月は夏休み中なので体験教室もお休みです)

※小学校 1~6年生の登録制です。

登録申し込みは随時受け付けます。

新居浜市中学生弁論大会が7月10日（火）に開催され、泉川中学校・藤田 晃多さんが「大好き泉川」について地域の方と一緒に活動したことを発表しました。

泉川校区の美化活動、中学生のボランティア活動が良くわかり大変すばらしいので、校区の皆様にもご覧いただきたく、今月号に掲載いたしました。



（紙面の都合により部会報告は掲載していません）

『大好き泉川』

泉川中学校 三年
藤田 晃多

六月十日、日曜日、朝八時、観音原から郷に抜ける「郷―桧の端線」沿いの空き地に、泉川中学校の生徒がぞくぞくと集まってきた。地域の人たちは既に準備を始めていた。

今日は、「大好き泉川の日」だ。毎月第二日曜日に、地域の人たちが行っている校区の美化活動に中学生も参加しよう、去年の四月から始まった取り組みだ。

今回は、プラントナーの土を入れ替える。見上げるような高さの土の山。栄養豊富なおいも強烈。その山からスコップでプラントナーに土を入れ、軽トラに運ぶのが僕たち男子。女子は軽トラから全長一キロメートルほどの道路の両はしにプラントナーを等間隔に並べていく。単純だが、体力的にきつい作業だ。その上、六月とは思えない暑さ。それでも皆黙々と。ではなく、友達や先生、地域の人たちと楽しく話しながらてきぱきと作業を進めていた。プラントナーは、全部で五百個。二時間近くかかったが、皆笑顔だった。作業中、いろんな人から声を掛けられた。



「おーでかいの、今日も来とんか。」
「えらいの。」
「また、来月も頼むよ。」

今回で僕は八回目の参加になる。部活動の試合や特別な用事がない限り欠かさず参加するようになった。これまで奉仕作業なんてめんどくさい、と、適当に手を抜いていた自分が、休みの日に朝早く、自主的に参加するなんて、びっくりする変わりようだ。



僕を変えたもの。それは、泉川中学校七十年の歴史が分かるビデオだ。昨年、創立七十周年の記念式典で、前の校長先生が見せてくださった、戦後の何も無い時代、学校もグラウンドもない中から、自分たちの力でグラウンドを作っている姿。大きな石を運び出し、土をならしていく。大変な作業のはずなのに、表情が生き生きとしている。みんな笑顔だ。『今、僕たちが生活している泉川中学校は、こうやってできたんだ』と思うと、正直、胸が熱くなった。

式典の後、僕は学年の代表としてタイムカプセルを埋めた。全校生徒だけでなく、地域の人たちや卒業生の人たちにも緊張した。タイムカプセルの中は、生徒一人一人の思いのこもった手紙。土をかけながら、便箋と封筒が配られたときのことを思い出した。
「三十年後の自分に手紙を書こう」

そんなことを急に言われても、すぐには考えられない。数日間悩んだ。野球も勉強も頑張らなくては、と思いつながらも、あきらめてしまう弱い自分自身のこと。野球を続けていきたい、将来、警察官になりたい、という夢など、書き始めたら止まらなかつた。三十年後の自分は、この手紙をどんな思いで読んでいるのだろうか。四十四歳になった僕が読んでいる姿を想像すると、不思議な気持ちになる。

その後、教室に帰ると記念の冊子が配られた。一枚一枚の写真をしつくり見ている。生き生きと笑顔で生活している先輩たちの姿。どの写真からも、この学校が好きだ、と

いうストレートな思いが伝わってくる。七十周年の記念行事に、地域の人たちや卒業した先輩たちが、何十人と集まってくれる。昔も今も、泉川中学校は愛されているんだ、と実感した。

僕を変えたもの。それは、泉川中学校が好きだ、という昔も今も変わらない先輩たちの強い思いだ。僕も、この学校で生活していた証を残したい。この学校が好きだ、そう思える時間を過ごしたい。そのためにも「大好き泉川の日」に、地域の人たちと活動していきたいと思う。三十年後、夢を実現させ、創立百周年の記念行事に、卒業生の一人として参加している自分の姿を想像しながら……。

